

What's New

現在カナダに留学中の第13期生 伊藤智紀君、小南菜子さんよりジャーナルが届きましたので紹介します。カナダに来て早くも5か月が経過（報告時）。ホストファミリーや友達との交流、地域活動への参加も以前に比べるとかなりアクティブになっている様子です。一番大きな課題と捉えているスピーキングの力も徐々に上達しているとのことです。

◆◆◆◆◆智紀くん◆◆◆◆◆

①学校・学習面でのテーマ:好きな科目、嫌いな科目は?(なぜか?どう伸ばし、克服したいか。)

好きな科目は Math10(数学)、P.E(体育)、Shop(工作)です。理由は数学は内容が中学生レベルなのでとても簡単で、ほぼ毎回100点が取れて気持ちがいいからです。体育では日本ではできないカーリングやバレーボールなどをプレイできるし、プレイ中は誰とでも気軽に話せるからです。工作クラスでは、木を使って自分の好きな物を作ることができるのがとても楽しいです。

②生活・友人・地域活動のテーマ:日本と違い、コミュニケーションでの戸惑い、驚きはあるか。

コミュニケーションで日本と違うのは、初めて会う人にでも普通に話したりして、とてもフレンドリーな点です。例えば、お店でレジの店員のひとと話したり、僕の場合は下校中に、小学生の男の子が僕の前を歩いていて、道沿いの家の犬が急に吠えたのでビックリした後に、僕の方にやってきて、「いつもは吠えないのに急に吠えられた(笑)」みたいなことを話しかけてきたので、その後も話しながら家に帰ったというエピソードが印象的です。日本でもこれくらいフレンドリーだったら楽しいのになあとと思います。また話すときの表情がとても豊かで、身振り手振りが大きいです。こういう面もスピーキングとは違う点で大切なコミュニケーションだと思っています。

◆◆◆◆◆菜子さん◆◆◆◆◆

①現地コーディネーターさんのコメント

最初の頃はスピーキングに全く自信がなかったですが、今では自分の殻を破ってしっかり表現できますし、スピーキングも明瞭になって、自分の意見を勇気を出して伝えています。ホストペアレンツは菜子さんの

の成長にとっても満足しており、菜子さんの性格も大好きです。4人の子供たちも菜子さんが大好きで、家族の一員として感情や要望をぶつけています。これはお金では買えない一生ものの経験で、人生の糧になることでしょう。

②本人のコメント

カナダでの生活があと5ヶ月しかないのにまだ沢山上達させたいことがあるのでいつも心配しています。しかし、ファミリーや先生方が助けてくれたりアドバイスもしてくれます。一生懸命努力して良い日々を過ごしたいと思います。



クリスマスに親戚たちと



スキーに行きました



家族とクリスマス



Wisconsin Dells
旅行にて

ハロウィーン
の仮装

